

4/6
(月)

今日からピカピカの1年生 小中学校で入学式

市内各小中学校

ceremony

市内の小中学校で入学式が行われ、小学生449人、中学生461人が学校生活をスタートさせました。このうち、掛田小学校には27人が入学。少し大きめの制服に身を包み、堂々と入場しました。渡邊かおり校長は「命を大切に、健康で過ごしてください。皆さんのこれからの頑張りを楽しみにしています」と新入生に伝えました。教科書が手渡されると、誇らしげな表情を浮かべ、学校での生活に胸を膨らませている様子でした。



4/7
(火)

大きな声で返事できるかな こども園で入園式

梁川認定こども園

ceremony

梁川認定こども園には、0歳から5歳まで54人の子どもたちが入園しました。3歳から5歳のクラスの入園式では、担任の先生から名前が呼ばれると、大きな声で元気よく返事をする姿が見られました。金澤マユミ園長は「友達と遊んだり、歌ったり、かけっこしたりして楽しく過ごしましょう」と園児たちを歓迎しました。園児と並んで座った親たちは、我が子の成長に目を細め、入園を喜んでいる様子でした。



4/1
(水)

よそ者の視点で魅力発見 地域おこし支援員に辞令を交付

伊達市役所

ceremony

須田市長が「よそ者の視点から、それぞれが思う地域おこしに取り組んでください」と話し、辞令を手渡しました。霊山町大石地区担当の浜田和彦支援員は「地域を巻き込んで活動したい」と抱負を述べました。月舘町布川地区に先月着任した小林朗子支援員は「いろいろな作物が作れるので楽しみ」と話し、活動への決意を新たにしていました。これまで着任した支援員は25人で、うち9人が伊達市に定住しています。



4/1
(水)

震災10年の節目に向け活動 復興支援員に委嘱状を交付

伊達市役所

ceremony

委嘱状交付式で須田市長は「市内はまだ風評被害がみられます。地域のけん引役として活躍してください」と激励しました。霊山町で農業指導や製品の加工に取り組む大橋新支援員は「小国地区を中心に地域を盛り上げていきたい」と意気込みを語りました。一方、昨年度まで地域おこし支援員として活動してきた野村明祥支援員は「これまでの経験を活かし、空き校舎の利活用などに取り組みたい」と抱負を述べました。

